

5 世帯の状況

総世帯数(資料⑧)は、3万4,272世帯で前回調査に比べて1,154世帯減少しました。

施設などの世帯を除いた一般世帯数3万4,147世帯を世帯人員別(資料⑨)で見ると、1人世帯が9,425世帯、2人世帯が1万1,481世帯、3人世帯が5,956世帯、4人世帯が3,966世帯と、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなり、2人以下の世帯が全体の約6割を占めています。

1世帯当たりの世帯人員も2・50人で、前回調査の2・63人に比べて0・13人減少しています。

また、高齢単身者(65歳以上の単独世帯)は5,244人(男性1,163人、女性4,081人)で、前回調査より345人(7・0%)増加しました。

そして、高齢夫婦世帯(夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯)は5,008世帯で、前回調査に比べて88世帯(1・8%)増加しました。

高齢単身者と高齢夫婦世帯を合わせると全世帯数の29・9%を占め、3・3世帯に1世帯は高齢者のみの世帯という結果となりました。

2. 労働力の状態

1 労働力人口

本市の15歳以上人口7万7,641人の労働力状態を見ると、労働力人口(15歳以上人口のうち就業者および完全失業者)資料⑩・⑪は4万1,829人で、前回調査に比べて4,338人(9・4%)減少しました。男女別では、男性が2万2,811人、女性が1万9,018人となり、前回調査に比べて男性が10・1%、女性が8・4%減少しています。これは、生産年齢人口(15歳~64歳)の減少がそのまま労働力人口の減少につながっていると考えられます。

2 労働力率

労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)資料⑫

料⑫)は53・9%で、前回調査に比べて1・8ポイント低下しています。男女別では、男性が64・8%、女性が44・8%で、前回調査に比べて男性は2・7ポイント低下し、女性は1・1ポイント低下しました。

⑭)は50・1%で、前回調査に比べて1・9ポイント減少しました。男女別では、男性58・8%、女性42・9%で、前回調査に比べて男性は2・9ポイント、女性は1・0ポイントそれぞれ減少しています。

3 就業人口

労働力人口のうち就業者の総数(資料⑩)は、3万8,904人で、前回調査に比べて4,214人(9・8%)減少しています。

男女別では、男性が2万0,720人、女性が1万8,184人で、前回調査に比べて男性が2,498人(10・8%)、女性が1,716人(8・6%)減少しました。

完全失業者数(資料⑬)は2,925人で、前回調査に比べて減少していますが、失業者率で見れば前回調査時が7・1%、今回調査が7・5%と増加しています。

4 就業率

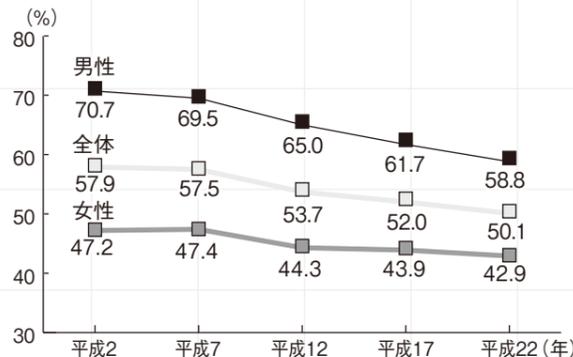
就業率(15歳以上人口に占める就業者数の割合)資料⑭

5 就業者の従業上の地位

就業者数を従業上の地位別に見ると(資料⑮)、雇用者が2万6,888人(就業者数の69・1%)、役員が1,714人(同4・4%)、自営業主(家庭内職者を含む)が6,708人(同16・9%)、家族従業者が3,440人(同8・8%)となっています。雇用者のうち臨時雇用の割合は29・7%であり、男女別では男性15・5%、女性43・0%となっており、女性の雇用者は2・3人に1人は臨時雇用となっています。



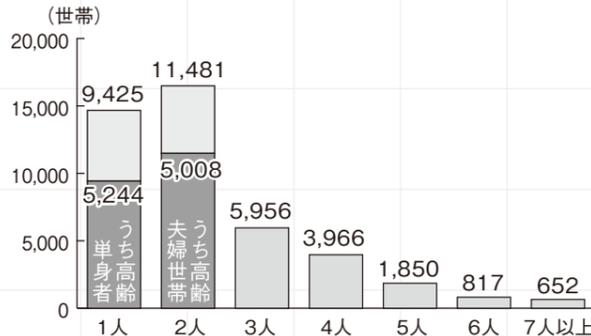
◆就業率の推移 (資料⑭)



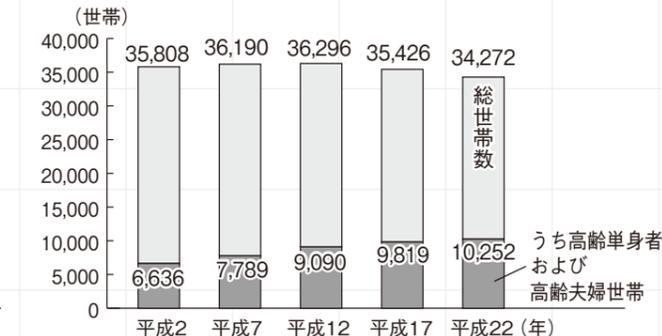
◆男女別完全失業者数の推移 (資料⑬)



◆世帯人員別一般世帯数 (資料⑨)



◆総世帯数および高齢夫婦・高齢単身者数の推移 (資料⑧)



◆就業者の従業上の地位 (資料⑮)

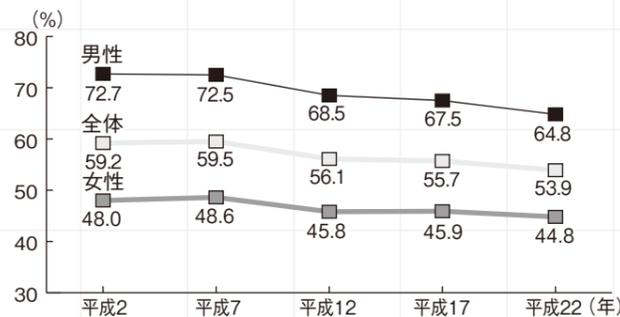
	雇用者			役員	自営業主			家族従業者	
	総数	常雇	臨時雇		総数	雇人のある業主	雇人のない業主		家庭内職者
総数	26,888	18,892	7,996	1,714	6,708	1,245	5,345	118	3,440
男	13,023	10,994	2,029	1,270	5,514	1,066	4,440	8	837
女	13,865	7,898	5,967	444	1,194	179	905	110	2,603

◆労働力人口 (資料⑩)

	就業者					完全失業者	労働力人口
	総数	主に仕事	家事的ほか仕事	通学のかたわら仕事	休業者		
総数	38,904	33,429	4,576	67	832	2,925	41,829
男	20,720	19,683	483	22	532	2,091	22,811
女	18,184	13,746	4,093	45	300	834	19,018

労働力人口は41,829人
就業者の総数は38,904人
完全失業者は2,925人

◆労働力率の推移 (資料⑫)



◆労働人口の推移 (資料⑪)

